

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

	コード	名 称			コード	名 称	
事業名	465	児童館事業経費		会計	01	一般会計	
基本施策	8	子どもを産み育てやすい環境をつくる		款	03	民生費	
				項	04	児童福祉費	
				目	05	児童館運営費	
担当部課名	健康福祉部 しろなみ児童館			細目	101	児童館運営管理事業	
作成者氏名	稲田 文郎	連絡先	24-2466	細々目	02	児童館事業経費	

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
	久米小学校区を中心とした児童及び就学前の親子	差別に気づき仲間と共に差別をなくす子どもを育てる。 就学前の保護者同士の交流や地域のつながりをもつことで、子育てをしやすくする。					
本年度事業内容							
	1 学童保育の実施(学校の放課後、いろいろな遊びをとおして健全育成に努める。) 2 地区学、そろばん、卓球、しろなみクラブ等各教室の実施 3 就学前親子教室の実施 4 児童福祉会等、地域組織活動への協力の実施						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	伊賀市児童館設置条例

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	1.5	1.5	1.5
	人件費合計(A)	10,800	10,800	10,800
②支出内訳(千円)	事業費(B)	1,380	1,488	1,488
	委託料			
	報償費	903	1,030	1,030
	需用費	347	295	295
	その他	130	163	163
	合計(A+B)	12,180	12,288	12,288
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	12,180	12,288	12,288
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値	目標値	
		H17	H18	H19
対象者	人	120	150	150
教室利用者	人	50	100	150

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
対象者適用比率 (各教室等参加者数/各教室等参加資格者数)	各教室等参加資格を有する子どもの人数を分母とし、各教室等参加者の人数を分子とする対象者の適用比率を指標としました。	%	80 目標 (100)	100	100
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

当初は、地区内の子どもの参加がほとんどであったが、年が経つにつれて地区外の参加者も増えつつある。将来は、市広報等で周知を図りながら、久米小学校区以外の地区からも参加できる環境にしていきたい。

評価	必要性	4	徐々にではあるが、地域の環境もよくなってきているので、今後もこの事業を継続し、市広報等で周知を図りながら、地区外を含む児童、保護者、就学前親子及び地区組織団体が、それぞれ交流を深め合い、差別のない明るい社会が築けるよう努力する。	総合評価
	有効性	3		B
	達成度	2		
	効率性	3		